

令和7年度人文社会科学部転学部・転学科試験の概要について

1 実施の趣旨

基本的に本学部における学びの中で、学生自身の自発的な気付きに基づくキャリアチェンジの機会として、転学科の機会を設けるものです。ただし、本学学生であれば、他学部生も試験を受けることができます。

2 転学部・転学科後の所属

人文社会科学部の現代社会学科、法律経済学科、人間文化学科のいずれかに転学部・転学科を認められたものは、当該学科の2年次に編入されます。同時に、試験の際に選択するメジャーにおいて、専門分野を学修します。

3 実施時期及び募集定員

(1)実施時期

3月(予定)

(2)募集定員

若干名

4 受験資格及び転学部・転学科生に求める能力

(1)受験資格

TOEICのIPテスト(転学部・転学科試験の日から遡って1年前の3月以降に受験したものが有効)または公開テスト(今年度の8月以降に受験したものが有効)のスコアが450点以上である者のうち、以下(1)及び(2)のいずれかである者

なお、現代社会学科への転学部・転学科は、今年度後学期までの通算GPAが概ね2.0以上であることを必要とする。法律経済学科への転学部・転学科は、1年次後学期までの修得単位が25単位以上であり、今年度後学期までの通算GPAが2.0以上であることを必要とする。

(1) 2年次への転学部

茨城大学の他学部の学生で、1年以上在籍している者もしくは在籍見込みの者

(2) 2年次への転学科

人文社会科学部の学生で、1年以上在籍している者もしくは在籍見込みの者

(2)転学部・転学科生に求める能力・成果

転学部・転学科は、学びの転換によるリスクを伴う、新たな挑戦です。そのため、本学におけるこれまでの学修成績が良好な学生を求めます。これらは主に、試験実施日の前までに把握される本学GPAにより判断します。

人文社会科学部はメジャー・サブメジャー制のカリキュラムです。そのうち主専攻であるメジャーには、メジャー選択のために1年次から修得が義務づけられる、「メジャー要件科目(人文社会科学部履修要項参照)」があります。転学部・転学科生は2年次編入後、残る3年間で卒業が原則として想定されますので、これらの科目を修得済みである等、選択を希望するメジャーの学修に向けて準備ができている学生、意欲にあふれる学生を求めます。これらは主に、志願理由書及び単位修得状況等に基づき、面接で判断します。

5 留意事項

(1)すべてのメジャーが選択できるとは限りません。受入不可のメジャーがあることもあります。募集要項に、各学科で選択可能なメジャーを明示しますので、その中から希望するメジャーを選んでください。

(2)詳細については、令和7年1月頃に公表される募集要項によります。